

# 碩心

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可  
 神奈川 碩心 会 発行

5年4月号 (249号)	5年4月号 (249号)
発行者 根岸岳萃	発行者 根岸岳萃
編集者 中村岳愛	編集者 中村岳愛
現在 12 (4)	現在 12 (4)
4月地区 (4)	4月地区 (4)
3月地区 (4)	3月地区 (4)
2月地区 (4)	2月地区 (4)
1月地区 (4)	1月地区 (4)
年子山船合 (4)	年子山船合 (4)
5豆葉大 (4)	5豆葉大 (4)
員数 5931	員数 5931
会費 6345	会費 6345
名数 331	名数 331
名数 451	名数 451

## 行事予定

### ◎神奈川県本部吟行会

神奈川県本部事業の一つとし、有志参加の吟行会として、左記の通り実施することになりました。会員相互の理解と、親睦の交流を求め、詩歌に馴染み深い秋の東北岩手路を見聞し、吟友と語り合う三日間の旅です。

記

日時・10月30日(土)～

11月1日(月)二泊三日

旅行費・八万九千円

又切り・4月30日 先着二〇〇名で

又切り

主なコース(一JR 二バス 三船)

(二日目)

東京8:06(やまびこ38号)一の関

二毛越寺 三中尊寺 四平泉 五宮沢賢治記念館 六花巻

(二日目)

花巻 七石川啄木記念館 八盛岡市内 九早

坂高原 一〇龍泉洞 一一北三陸海岸

(三日目)

北三陸海岸 一二北山崎 一三田老 一四浄

土浜 一五宮古 一六盛岡(やまびこ8号)

一七東京 20:36

### ◎碩心会皆伝会

日時・5月4日(火)祝日

午前11時より

会場・堀内会館

会費・三千円(4月19日迄に申込)

### ◎碩心会吟行会

眺望三六〇度、日本一の円形パノラマ雲上風呂。あふれんばかりのお湯に体を横たえながら、風光明媚な大自然を眼下にみながらの気分は最高。又従業員一同が熱演する豪華絢爛たる演し物、三州園太鼓、踊り、歌、芝居等々・乞御期待。

記

日時・5月9日(日)～10日(月)

一泊二日

旅行費・三万一千円

又切り・4月20日 企画部

主なコース(バス利用) 綾部秋岳方迄

(一日目)

逗子8:00(横横道路) 一横浜IC 二

東名高速 三豊川IC 四豊川稲荷 五大秘殿

(十界めぐり) 六殉国七士の墓 七三州

園ホテル(泊)

(二日目)

三州園 一ガク封じの寺 二ファンタジー

館 三名志園 四三ヶ日IC 五東名高速

横浜IC 六横横道路 七逗子 17:00頃

第一〇三回全国大会

功勞者表彰

3月28日、東京ベイNKホールに於て開催された全国大会に於いて、碩心会から左記二名が表彰されました。

長寿の部 武井桃風 (松和)  
 運営者の部 中村岳郵 (堀内)

碩心会支部別・会員数一覧表

平成5年4月現在

退子地区	葉山地区	大船地区
737934175 511131 AB間根詠港月葉 子子山の 退返様沼山銀真葉若	3474278337281 831111111 内AB山原山口浦新口坂早瀬 色色 木山 山の 堀一 尾上唐下吟長上流風麗	14478 118 AB翠和 船船 大六百松
9支部165名	13支部239名	4支部43名
26支部		451名

奥に伝△口格

(平成5年4月1日付)

320 前野玲風 高橋光風  
 360 小野裕風 中村豊風  
 372 高橋之風 高橋俊風  
 394 袴田正風 村上雅風  
 395 村上雅風  
 おめでとうございます。これからも益々の御精進を。

前向きにがんばってゆきたい

唐木山担当 寺脇 宇岳

きびしい寒さにもめげず集まってきてくれ、吟じ終り帰る後姿を、御苦労様でしたと見えなくなる迄送った冬も過ぎ、猫柳が芽吹きはじめ、何となく春の足音が聞こえてくる季節となり、ホツとした気持の今日この頃です。六帖の部屋で合吟すると、前の藪の笹鳴りが、あたかも伴奏を入れてくれてるかのように入ります。人数は少ないが楽しくやってゆきましようと言ってくれた広瀬晴風さんの言葉が千人の味方のように思え、いつ迄も長く続けてゆきたいと思えます。人間生きてゆくには、山あり谷ありで重荷を背負ってゆくが如しという言葉があります。前向きにがんばってゆきたいと思えます。大好きな詩吟は私を支えてくれ、私の命かも。

私は一人暮らしていますので、横浜にいる86才の姉が二、三日おきに電話をくれます。姉も前に詩吟をやっていたので話を通じ、つつい詩吟の話になります。そして詩吟を習ってよかったですねと言ってくれます。

ふと、そばの新聞に目をやると、オペラ歌手の発声は、腹筋と体全体で訓練を重ね、そして獲得したのがあの声だとか・・・詩吟も同じだと思えます。今後共皆様のご支援をお願いいたします。

送別会

大船A担当 山口 夕岳

春は別れの季節・・・とは誰が言ったのでしょうか。私達のグループでも、一人の仲間を送らねばならなくなりました。一番吟に熱心だった彼女で残念です。でもお家の事情ではやむを得ません。彼女は一年ほど他流の吟を習い、私の所に入った人なので、吟にちよつと癖があり、本人も苦労だったでしょうけど、私も他の人の倍の時間をかけ練習しました。本人も熱心で、稽古の時は必ずテープをとって帰ります。そんな甲斐あって、この頃では癖もとれてよかったです。思う日々でした。

そして今回も三段の審査を受けるつもりで練習していた直前に、鹿児島島の長男の所に同居が決まり、足許から鳥がたつように、お別れすることになってしまったのです。

引越し準備の忙しい一日、都合をつけてもらい、お別れ会をすることにしました。そこは女ばかりの集まり・各自料理を色々持ち寄り、会場は我が家で、賑やかなお別れ会となりました。乾杯にほろ酔いになり、話題は尽きず、各自一吟づつ吟じ、お別れ会の幕を閉じました。

こんな楽しいお別れ会ができるのも、教場の皆さんが、普段から練習の日々を大切に、仲良く過している賜と、大切に感謝しました。

これからも、この皆さんの気持ち大切に、和に心掛け、自分の向上に努めねばとしみじみ思った一日でした。

春愁い吟声くもる別れかな

相あふて別るる今日の忘れ霜

## 教場だより

### 真澄支部木曜教場

(10時～12時)

祭日をはさみ久しぶりに会い、先生始め皆さん、まず元気でおはようの挨拶を交わす。そして会員の御家族のおめでたの朗報を聞き、拍手でお祝いする。お稽古はまず第一〇三回全国大会の大会吟三題を練習。やはり先生の声はひときは立派。皆もつられて大きな声で合吟する。そして一寸ひと息、お茶タイム。ひきつづき第四巻村上仏山作「無題」を勉強。素読二回、通釈を皆で声を揃えて読む。

桜田門外で大老井伊直弼が討たれた時の詩文で、「白昼斬り取る」の部分は、風景詩を吟ずる時のように、のんびりと情景を表すのではなく、言葉をつめ、余韻を延ばし、詩の意味を考え、白昼斬り取る時の志士の気持を表現するようにと説明され、迫力のある吟になるほどと感じました。まだ余韻のさめないうちに、時間を知らせるチャイムが鳴り、今からでも気を以って益々吟道への精進を誓い教室をあとにしました。

(水上 記)

### 真澄支部金曜教場

(14時～16時)

二時前には皆さんが勢揃いして席に着き、先生をお迎えします。春季査定を控え、先生は一人一人に丁寧に指導され、息の吸い方、言葉の詰め、余韻時間、アクセント等をアドバイスされ、出来ない所は何度でもくり返し、わかりやすく説明されます。そしておもたせのお茶菓子で一息いれます。

この教場は初段(2)、四段(3)、奥伝(1)、七段(1)の受審者があり多彩で、先生も大変です。基礎をしっかりと身につけるために、母音にかえすことを常に注意されます。

和やかに、師弟の隔たりなく胸襟を開いての楽しい勉強で、時には剽軽な質問で皆さんを笑わせたりする方もあり、明るく、朗らかな教場です。

(水上 記)

### 真澄支部金曜教場

(19時～21時)

お勤めしている方が多いのでお疲れだろうと思いますが、熱心にお稽古に来ていられます。ここで大きな声を出して、今日一日のストレスを解消し、明日への糧としていただきたいと思います。

体育館会議室でやっていますので、夜は外までひびき、運動で来ている方達はよく耳をかたむけているようです。

皆さん方は入会してお勉強したいと望んで来られたのですが、やってみると中々取り付きにくいらしく、仕事が忙しいとか何とか理由をつけて来られず、この度一部の方の退会届を出した次第です。自分から望んで来られただけに、引き止められなかつた事を反省しています。

(担当 村田 記)

### 真澄支部水上教場

(水・1時30分～3時30分)

友人の勧めで詩吟を始めて二年・こんな発表会やら試験があるとは思いませんでした。水上教場は今のところ、男(1)、女(3)で、先生の自宅でお稽古しております。

まだ始めて間もない頃、村田先生の教室へ合吟の練習に伺った時、皆さんの吟を聞いて驚き、いまだに心に残っており、いつになったらあの力強い声が出るのかと思いました。

お稽古は発声法から始め、七本、八本と、だんだん声が出るようになり、前に習った吟を各自おさらいしていただきませす。他の方が上手になさるので、思わず一週間声を出さなかつたことを反省します。

お稽古が終わって、お茶をいただくのが又楽しみのひとつで、色々な話に華が咲きます。

健康に注意して、休まず、長く続けるよう努力し、先生のご厚意に報いたいと思います。

(和田 記)

\*真澄支部西川教場は、目下横浜に教場ができる準備をしていますので、後日教場風景を書かせていただきます。

### (氏名訂正)

323 長島正風・正子を正に

663 占部優喜を優貴に

### (電話番号変更)

34 村田瀨岳・七一九二五を 七二一〇四七に

537 武藤千泉・七三一六二八を 七二二〇五九に

### (入会)

666 三木しずの 蓮子市蓮子 二一五二二一九 今井方

(若葉) 〇四六八七二一五三〇七

667 村木清美 蓮子市小坪 四一九一七

(真澄) 〇四六八一四一七六五五

668 鈴木清子 栗山町一色 六七五

(一色B) 〇四六八一七五一五四二

669 荒牧秀子 栗山町堀内 一九五〇一八一

(下山口) 〇四六八一七五二二七七

670 大内育子 栗山町堀内 一九五〇一五八

(下山口) 〇四六八一七五二八二〇三

671 日比多恵子 栗山町堀内 二二〇〇一四七

(下山口) 〇四六八一七五二九四三三

672 森合敬忠 ヨシタダ

(下山口) 栗山町堀内 二二〇〇一四二

673 山田量一 栗山町堀内 二二〇〇一〇五

(下山口) 〇四六八一七五二六九〇〇

674 沼田厚子 栗山町上山口 九〇一

(上山口) 〇四六八一七八一八九〇

### (退会)

348 平信風(死) (若葉) 419 森谷千山 (堀内D)

436 永井江山 (上原) 458 高橋義勝 (松懸)

509 高野栄山 (一色A) 527 真中紀泉 (堀内E)

558 鈴木幸泉 (大船B) 559 栗山敏泉 (大船B)

566 姥 寿泉 (大船A) 613 五味美泉 (堀山)

617 市瀬江風 (大船A) 643 岡田紀泉 (真澄)

658 佐藤悦子 (上原)

桜花爛漫、でもこのところ花冷えの日がつづいています。健康に留意して、年度切替えの四月、心新たにがんばりましょう。